



ニッポンの 伝統文化を味わう



東京五輪が近づき注目を集める日本の伝統文化、皆さんはどこまで詳しく知っていますか？

やよい図書館にある本と一緒に、その奥深さを少しだけ覗いてみましょう。外国の方におすすめできる「英訳付きの本」も紹介しています。



正月 Shogatsu

1年のはじめに国民全体で新年を祝う最大の年中行事。寺社へのお参り、伝統的な料理を食べる、正月飾りを置く、正月遊びなどを通して1年の幸福を祈ります。「あけましておめでとう」というあいさつには、新年を祝う気持ちと、旧年を無事に過ごせた感謝の気持ちが込められています。

初詣 Hatsunode

新年に氏神や寺にお参りして1年の幸福祈願をすること。もともと大晦日に自分の家や氏神の社にこもる習わしが変わ化したとも言われています。足立区にある西新井大師は関東の3大厄除け大師とも言われ、多くの参拝客で賑わいます。

凧揚げ Tama Uchi

竹の骨組みに和紙をはった「和だこ」の正月遊び。世界中にある遊びですが、カイトと呼ばれる西洋だこは布やビニールを使ってあがりやすく、日本でも昭和時代に輸入されて急速に普及しました。

浮世絵 Ukiyo-e

人々が生きる現世を題材として、17世紀後半から20世紀初頭にかけて制作された絵画。大衆向けの娯楽として人気を博し、世界にも多くのコレクションが渡っています。

門松 Kadomatsu

正月を迎えるために家の門前や庭に立てる飾り。その年の豊作と幸いを約束してくれる年神が家に入る時に1度とどまる「依代(よりしろ)」の意味を持ちます。今でも旧家や商店、会社などを中心に受け継がれている風習です。

お節 Osechi

お母さんがゆっくりできるよにと考えられた正月用の料理です。重箱に入ったひとつひとつの料理は縁起を担いでいます。例えば昆布巻きは「よるこぶしの語呂合わせで、1年が喜んで生活できるよにと願うものです。

相撲 Sumo

平安時代から伝わる日本の国技。当初は宮廷の年中行事として、全国から集めたカ人に相撲を取らせ農作物の豊凶を占い、天下泰平・五穀豊穡を祈願したと伝えられています。

日本の伝統文化が やって来る！



足立区竹の塚地域学習センターでは、1月14日(土)午前9時〜午後7時まで「Japan Festa in ADACHI」が開催されます。

富山県の祭り「おわら風の盆」の体験や出張浮世絵展など、たくさん伝統文化に触れられるチャンスです。入場無料なので気軽に参加できます。ぜひ、ご家族・ご友人をお誘いあわせのうえにご参加ください。



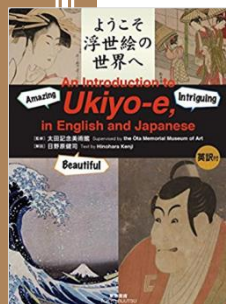
『英語で紹介する日本事典』
堀口佐知子/監修 ナツメ社



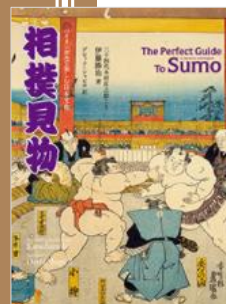
『英語で日本を紹介しよう5 日本の遊び』
居村啓子/監修 ポプラ社



『英語でつくる和食』
藤田裕子・ナヴィインターナショナル/編著 ナツメ社



『ようこそ浮世絵の世界へ 英訳付』
太田記念美術館/監修 東京美術



『相撲見物 バイリンガルで楽しむ日本文化』
(34代木村庄之助こと) 伊藤勝治/著 青幻舎